

1. 天皇 2. 国民 3. 内閣総理大臣 4. 摂政

1. 福沢諭吉 2. 芥川龍之介 3. 森有礼 4. 中江兆民

1. サンフランシスコ平和条約に基づき、日本は樺太（サハリン）南部と千島列島に対するすべての権利を放棄した。
2. 樺太（サハリン）の北緯50度以南の地域を日本領とし、千島列島についてはそれまで通り日本領とした。
3. 日本が千島列島全域を領有する代わりに、樺太（サハリン）全域をロシア領とした。
4. 下関条約に基づき、日本が遼東半島、台湾、澎湖諸島とともに、樺太（サハリン）の全域を領有することとした。

1. ロシアとの領土紛争を未然に防ぎ、
北方の国境を画定させて国内の改革に専念するため。

2. 日露戦争に勝利した結果として、
新たな領土を獲得し東アジアでの影響力を強めるため。

3. 江戸時代から続くロシアとの不平等条約を改正し、関税自主権を回復するため。

4. 北海道の開拓を中止し、その予算を対外的な軍備増強に充てるため。

1. 樺太・千島交換条約 2. 下関条約 3. ポーツマス条約 4. サンフランシスコ平和条約

1. 日本が千島列島を領有し、ロシアが樺太を領有する

1. 政府の命令に忠実に従う有能な官僚を育成するため
2. 自由民権運動を急進的なものにし、武力による政府転覆を促すため
3. 個人の独立心を養うことで、欧米列強に対抗できる国家の独立を維持するため
4. 封建的な身分制度を復活させ、士族の特権を維持するため

1. 第一次世界大戦が勃発し、ヨーロッパからの輸入が途絶えたことで日本の重工業が急成長した時期。	2. 下関条約によって清から賠償金を得た後、ロシアとの間で日露戦争が始まる前の時期。	3. 明治新政府が成立して間もなく、廃藩置県や学制の公布が行われていた殖産興業の初期。	4. 条約改正により不平等条約の解消が完全に達成され、日本が国際連盟への加盟を果たした時期。
--	--	---	--

1. 米騒動 2. 日比谷焼打事件 3. 足尾銅山鉍毒事件 4. 秩父事件

1. 戦後の内閣総理大臣として、連合国との間にサンフランシスコ平和条約を調印した。
2. 武士の特権を奪う「廃刀令」や「秩禄処分」を断行し、兵農分離を徹底させた。
3. 民本主義の立場から、普通選挙の実現や議会政治の確立を提唱し、護憲運動を支えた。
4. 日本で最初の政党である自由党の党首となり、各地で演説を行って国会開設を訴えた。

1. 甲午農民戦争 2. 日清戦争 3. 太平洋戦争 4. 日露戦争

1. 政治と宗教を完全に分離し、いかなる伝統的権威も政治に関与させてはならないという考え

2. 地方の自治権を何よりも優先し、中央政府の権限を最小限に抑えるべきであるという考え

3. 主権は国民にあり、憲法は国民の代表が話し合って作成する「民定憲法」であるべきだという考え

4. 国の中心は君主であり、憲法は君主が国民に授ける「欽定憲法」の形式をとるべきであるという考え

1. 国際連盟からの要請を受け、日本の新聞は海外の批判的な意見をありのままに報じることで平和活動の主導権を握った	2. 政府は新聞社を完全に民営化し、一切の公的資金を投入しないことで、報道の自由と中立性を憲法で保障した	3. 新聞の発行が全面的に禁止されたため、国民はラジオ放送や瓦版を通じてのみ政治の動きを知ることができた	4. 軍部や政府による検閲が強化され、事実と異なる戦果の発表や、戦争遂行に協力的な世論を形成する報道が強制された
--	--	--	--